

# 浄心寺だより

発行  
浄心寺門信徒会

郵便番号714-0081  
笠岡市笠岡2065  
電話(0865)62-2623  
FAX(0865)62-2595  
振替01260-9-13760  
<http://joshinji.suki-ari.net/>

## 浄心寺仏教婦人会 結成30周年記念式典

4月25日



### 「み法を味わって」(五)

福田 (ふくでん)

福田という言葉が仏教にあります。福德を生み出す田ということ。田(畑を含む)は作物を生み出し、育てるところです。福田の田は、ほぼ人の意味で、仏や僧など敬うべきもの(敬田・きょうでん)、父母や師など恩に報いるべきもの(恩田)だけでなく、貧者や病者のような悲しみ苦しみを気づかしめるもの(悲田)などすべての人を含み、すべてが大切と教えます。

聖徳太子が建立された四天王寺の四か院に仏教としてあるべき考えが示されています。

福しあわせをもたらすのも、不幸を招くのも「人」です。私がどのように思い、人にどのような心で接するかによって、私のしあわせが決まるのです。周りの人がどの人がどのような心で接するかによって、私のしあわせが決まるのです。周りの人が私の心のあり方を仏法に問い聞くことによつて、私自身を知ることこそが私のしあわせになるために大切なことなのです。

鷹谷俊昭著『月ごとのことば』転載

ごあんない

### 法宝物 虫干し法座

ご講師 三原市大和町 浄楽寺 栗原 一 乗師

七月十八日(火) 十三時半より

# 初参式



五月十三日十三時より、親鸞聖人のご誕生をお祝いする宗祖降誕会法要が勤まりました。

今年も例年通り、仏婦コール清風コンサート、チャリティコンサート

# 宗祖降誕会法要つとまる



ト、落語を開催しました。まず住職と前任職が内陣出勤し、一同で和訳正信偈をおつとめ。続いてコール清風の登場。仏教讃歌のやさしい歌詞と心地よい調べが堂内を包みました。「つながるいのち」「島の花娘―真鍋島の風景」「しんらんさま」の三曲を披露。二曲目は総代の内海義郎さんの五十年前の作詞に実弟の藤井修さんが昨年曲をつけ、完成したものです。リズムカルな楽しい曲でした。

チャリティコンサートでは、琴、



五月四日に本堂で開催されました。今回は生江浜、高田泰紀さんのお孫さん、じゅんべい君(小3)とれいなちゃん(小1)がご家族と一緒に参りされました。

仏前でおつとめの後、住職からお話を聞き、その後は色紙に手形をとったり、写真撮影をしました。

仏婦の方々のお手伝いのもと、にぎやかなお参りとなりました。



フルート、ソプラノ、ピアノにより、「ていんさぐぬ花」「江戸の子守唄」「秋メドレー」「酔っぱらいの歌」「胡桃の森で」「フランク」「荒城の月」「ウクライナ」の演奏がありました。コーラスグループ、ステツリーネも加わり、美しい歌声と楽器の音色が響きました。今回は、来日して笠岡に住むウクライナの方へのチャリティでした。

落語は、笑福亭生喬師匠にお越しいただきました。演目は『須磨の浦風』と『百年目』。『須磨の浦風』は、夏の盛りにお殿様に須磨海岸の涼しい風を長持に閉じ込めて届けるはずが、おならをたくさん詰め込んで届けてしまう話。

## 笠岡に移住したウクライナの親子に寄付

降誕会のチャリティコンサートでの募金を笠岡市を通じて寄付しました。藤井祐三門信徒会長とチャリティ主宰の中桐直子さんが五月二十五日市長室にて贈呈式を行いました。総額70270円。

親子は六月に移住、言語もままならない中、新しい生活を始められています。



『百年目』は、商家の旦那さんと番頭さんの話。普段は奉公人、口やかましくしている番頭だが、得意先回りに行くとき嘘をついて屋形船で芸者とどんちゃんさわぎをする。満開の桜をめで見ると、ぱったり桜見物の旦那さんと出くわしてしまい、「長らくご無沙汰してます」と口にしてしまう。その心は、「ここで会ったが百年目」。雨が降ったりやんだりのあいにくのお天気でしたが、楽しい一日となりました。

やさしい仏教講座

第21回 6月7日(まとめ)

「森は海の恋人」

宮城県でカキ養殖をする畠山重篤さんは、三十年以上前から「海」の保護のために「山」に植樹する活動を続けています。山から海に流れ出す水には、地面からの養分が含まれています。畠山さんは、漁師さんらと植樹を続けています。

また下水が管理され、海にそのまま流れ出ないことで、栄養塩が減っているとのこと。魚介類の減少には様々な原因があるようです。

海が山、里と深いつながりがあるように、世の中のものはずべて



他と関わり合っています。それをお釈迦さまは「縁起」ということばで説かれました。この道理をよく理解した上で生きていけば、苦しみが減る、といわれます。

「阿弥陀さまの願い」

正信偈の第二十九〜三十六句をみていきました。「阿弥陀さまの救いの光は絶えず私たちを照らしているが、私たちは煩惱の雲で覆われている。いったん極楽世界を信じていることができれば、迷いを断ち切ることができる」との意。

さて、み教えの説き方は、時代に応じて変わらなければなりません。浄土真宗の法話を聴いた一般の人々の意見を聞いてみましょう。

「あなたたちは阿弥陀如来の存在を前提に話をするが、私はその前提が受け入れられない」

(本願寺新報五月十日)

「はじめて聞く浄土真宗の教えには違和感しかなかった。お経が絵本の物語にしか思えなくて、

「阿弥陀さまと常に一緒」というような先生の話も聞いても、「本当に思っていますか?」みたいな」

(御堂さん六月号)

そもそも、阿弥陀さまの存在は經典の中の話であって、現実世界のことではありません。阿弥陀さまの願いは極楽の完成により成就

「葬儀の弔辞や挨拶文」

され、人々の救いが整った、と説かれます。この、救いの拠り所となる極楽の存在を信じるのか、信じられないか、これが私たちの信仰の分かれ道なのです。

葬儀では弔辞や弔電、またお礼の挨拶などがあります。そのさい、宗教宗派によって決まった言葉づかいがあります。浄土真宗には次のような例があります。

- ・天国↓お浄土、極楽浄土
- ・ご霊前↓ご仏前
- ・冥福を祈る↓哀悼の意を表する



サマースクール開催!

7月21日(金) 10時から21時  
小学生対象、参加費1000円  
申込締切は7月14日

- ◆五月二十一日の「かさおかの市」
- ◆「お寺めぐり」に合わせ、花まつりを開催しました。当日、庫裡ではお抹茶接待や包丁とぎの実演、写真家さんによるスナップ撮影、その他出店があり、多くの方々当山を訪れ、にぎわいました。
- ◆祈る↓願う、念ずる
- ◆告別式↓葬儀
- ◆回向たまわる↓読経いただく
- ◆さまざまな例文もみていきました。

# 門信徒会総会

令和5年度

## 令和4年度 行事報告 (抜粋)

- ◎花まつり 4月29日(金) ダーナバザーと同時開催
- ◎総会 5月7日(土) 中止 役員に書面送付
- ◎降誕会～音楽法要 13時 仏婦コーラス「コール清風」  
ミニコンサート チャリティコンサート 上方落語 音楽家の皆さん 笑福亭遊喬 師匠
- ◎研修旅行 6月14日(火) 山口別院ほか
- ◎法物虫ぼし法座 7月15日(金) 13時30分 神石高原町油木 法泉寺 川上順之師
- ◎サマースクール 7月21日(木) 中止
- ◎孟蘭盆会 8月15日(月) 10時、14時 住職、前住職
- ◎秋季彼岸会・永代経 9月20日(火) 13時30分 三原市大和町 教専寺 福岡義朝師
- ◎地区委員会 12月3日(土) 11時30分
- ◎報恩講・お待ち受け法要 13時30分 三原市大和町 徳正寺 徳正俊平師
- ◎除夜会、修正会 12月31日(金)、元旦
- ◎新春の集い 令和5年1月中旬 中止
- ◎春季彼岸会・永代経 令和5年3月16日(木) 13時30分 備後教区布教大会を兼ね、布教団より講師3名
- あさのおつとめ 通年毎朝6時
- ◇やさしい仏教講座 毎回19:30～21:00 解説:住職  
なるほど浄土真宗 ⑭4/11(月)、⑮6/7(火)、⑯8/20(土)、  
⑰10/12(水)、⑱12/14(水)、⑲2/9(木)
- ◇境内清掃のつどい 毎月15日13:30より(但し6、7月は7:30から、1、8、9月はお休み)  
「浄心寺だより」発刊 139号(5月)、140号(7月)、141号(11月)、142号(3月)
- 仏教婦人会 4/29ダーナバザー、5/4初参式(なし)、総会(中止)、福祉施設慰問(中止)、料理教室(中止)、3/12例会(講師住職)、9/11清掃奉仕、教区各種研修会
- 文化箏同好会 毎月第1金曜 13:30 指導:平田澄子先生  
女声コーラスコール清風 毎月第2土曜 9:30 指導:平田澄子先生
- ヨガ教室 毎週金曜日10:30～11:30 指導:藤本幸代先生
- 本山関係 7月全国真宗青年のつどい、9月千鳥が淵全戦没者追悼法要、各種研修会
- 備後教区 各種研修会、定例法座(毎月11日)、11/30報恩講、総代研修会、平和のつどい(真備町)
- 備中里組 3/9同朋研修協議会、第8期連続研修会(中断)、青年部会主催ウォーキング(中止)

## 令和5年度 行事計画

- ◎本山慶讃法要参拝 4月11日(火) 報恩寺との合同参拝 23名
- ◎総会 5月13日(土) 11時
- ◎降誕会～音楽法要 13時 仏婦コーラス「コール清風」  
ミニコンサート チャリティコンサート 上方落語 音楽家の皆さん 笑福亭生喬 師匠
- ◎花まつり 5月21日(日) 8時30分から「かさいち」の寺めぐりと共催
- ◎法物虫ぼし法座 7月18日(火) 13時30分 三原市大和町 浄栄寺 栗原一兼師
- ◎サマースクール 7月21日(金) 10時～21時 教区内スタッフ2名
- ◎孟蘭盆会 8月14日(月)、15日(火) 10時、14時 住職、前住職
- ◎秋季彼岸会・永代経 9月21日(木) 13時30分 福山市内海町 善正寺 那須英信師
- ◎地区委員会 12月2日(土) 11時30分
- ◎報恩講 13時30分 福山市山手町 正圓寺 石川知全師
- ◎除夜会、修正会 12月31日(日)、元旦
- ◎新春の集い 令和6年1月中旬
- ◎春季彼岸会・永代経 令和6年3月 日時未定 講師未定
- あさのおつとめ 通年毎朝6時
- ◇やさしい仏教講座 毎回19:30～21:00 解説:住職  
なるほど浄土真宗 ⑳4/13(木)、㉑6/7(水)、㉒10/10(火)、  
㉓12/6(水)、㉔2/5(月)
- ◇境内清掃のつどい 毎月15日13:30より(但し6、7月は7:30から、1、8、9月はお休み)  
「浄心寺だより」発刊 143号(5月)、144号(7月)、145号(11月)、146号(3月)
- 仏教婦人会 4/25 30周年記念式典、5/4 初参式、総会(6月)、福祉施設慰問、料理教室、例会(3月)、清掃奉仕(9月)、教区各種研修会
- 文化箏同好会 毎月第1金曜 13:30 指導:平田澄子先生  
女声コーラスコール清風 毎月第2土曜 9:30 指導:平田澄子先生
- ヨガ教室 毎週金曜日10:30～11:30 指導:藤本幸代先生
- 本山関係 7月全国真宗青年のつどい、9月千鳥が淵全戦没者追悼法要、各種研修会
- 備後教区 各種研修会、定例法座(毎月11日)、11/30報恩講、総代研修会、平和のつどい
- 備中里組 同朋研修協議会、第8期連続研修会(6月より再開)

## 令和4年度 収支決算書

収入の部 **4,908,929円**

門信徒会費、行事参加費、教化助成金、法座懇志、冥加金、預金利子、繰越金

支出の部 **4,908,929円**

行事費(法座、荘厳費)、賦課金、通信費、保険料、手数料、印刷製本費、光熱水費、教化費、当期剰余金

この決算については、令和5年4月27日、監査高橋保文、藤井浩一郎両氏により監査を受け、正確かつ妥当なことが認められ、5月13日、門信徒会総会(書面送付)において承認されました。

## 令和5年度 収支予算書

収入の部 **4,085,904円**

門信徒会会費、行事参加費(研修旅行、新春のつどい、サマースクール)、教化助成金、法座懇志、冥加金、預金利子、繰越金  
(ほかに門信徒会基金 13,000,000円)

支出の部 **4,085,904円**

行事費(法座、研修旅行、新春のつどい、仏教講座、役員会、サマースクール)、賦課金、通信費、手数料、消耗品費、印刷製本費、光熱水費、修繕費、備品購入費、教化費、予備費

# 門信徒の広場

## 地区委員さん登場



舟隠・袖解地区  
高津伸文  
さん

高津さんは舟隠四戸・袖解二戸の六戸を、二十年余りの長きにわたり担当してくださっています。門信徒さんが減少しており寂しいと話されていました。

旧国鉄(現JR)に就職して以

来、八年前に完全離職し、今年七十五歳を迎えられます。

退職後は日々家庭菜園で野菜作りをされており、一方では、JRのOB仲間と海岸清掃などの地域のボランティア活動に積極的に参加するなど社会との関わりを持たれています。

今後は、コロナ禍も終息に向かう中、現職時の経験と知識を生かして、秘境の温泉地や名所旧跡を訪れる旅を計画したいとのこと。

四月二十五日、本堂にて記念式典が営まれました。会員四十数名参加のもと、門信徒会長の藤井祐三さんを来賓に迎え、にぎやかに行われました。

献花、献灯、献香の後、音楽法要『正信偈』を一同でおつとめ。

次に記念行事として、田坂英尊師による「親鸞聖人御絵伝くあな

## 浄心寺仏教婦人会 結成30周年記念式典



20周年記念に植樹した門前のこぶしの花が、今年もたくさん咲きました。

## 備中里組 お寺めぐり



六月五日、第一回目のお寺めぐりが、笠岡市小平井の地福寺で開かれました。これは第八期連続研修会で、今期はその内容を大きく見直し、備中里組の各寺院を観光して回る形式に変わりました。二年間で十二回の備中里組内のお寺めぐりをします。

参加者十四名のうち、浄心寺からは梶平一平、敬子、田林耕三、京子、西田哲、敏子の三組のご夫婦が参加。

たに届く絵ものがたり」を拝聴しました。スライドを使って、親鸞聖人のご生涯を描いた「御絵伝」の説明を分かりやすく、楽しくお話しいただきました。



## 仏婦総会

六月十八日十三時半より礼拝堂にて、予算決算などを審議。

まず一同で正信偈をおつとめ。

次いで、高橋了融住職により、地福寺の沿革を聞きました。現在地に移る以前に火災で本堂が焼失し、文書類も焼けたために詳しい記録が残っていないとのことですが、もとは真言宗の寺院だったのではないかとのこと。

その後、お茶をいただきながら自己紹介をしました。また、スタンプカードに地福寺のスタンプを押してもらいました。その後、オリエンテーションでこの研修会の説明を聞きました。最後は、真宗宗歌を唱和して解散となりました。

## 還浄(げんじょう)

(敬称略)

平田 道弘 6月16日 83歳

地区委員として令和三年五月まで、金浦南地区のお世話をしていただきました。感謝申し上げます。哀悼の意を表します。

広瀬 幸一	4・18	66	東京都
藤本 建一	4・25	78	鴨方町
藤原真理子	4・26	59	宮地
大石 武子	4・27	84	美の浜
藤井 逸子	5・14	101	井原市
佐伯 和子	5・21	96	孫治端
長谷川 静香	5・23	81	井原市
長安 八重	6・4	92	横島
前田 昇子	6・4	102	大久保

浄土真宗



教えと

そのあゆみ



私たちの宗門(17)

浄土真宗の礼拝対象

阿弥陀仏木像

宗祖は村の太子堂など既存の仏堂で法を説きました。念仏集団が形成されると、民家を改造した道場で集会しました。

●寺院の出現

親鸞の墓所、京都東山の太谷廟堂の第3代留守職覚如は、廟堂に正和元年(1332)専修寺という額をかけた。しかし比叡山から、専修念仏停止以降「専修」と

ト言 ちヨ一 お寺で法事をあつる場合

法事後、必ずお墓参りするものと思いませんか？

笠岡周辺では「必ず行く」という方が多いのですが、たとえば安芸門徒の広島県では、法事のときにお墓参りはしません。

浄土真宗の考え方では、法事は仏前で読経し、ご法話を聴き、参

という言葉は使用してはいけないことになっていると抗議を受けたので、本願寺と改めました。

大谷廟堂には親鸞の木像を安置していましたが、寺号を名乗ったので、親鸞木像を横に移し、阿弥陀仏の木像を安置しました。

武蔵の荒木門徒の流れをくむりょうげんは、建武元年(1334)京都に興正寺(のちに仏光寺と改める)を建て、阿弥陀仏と聖徳太子の木像を本尊としました。こののち各地門徒によって寺が建てられ木像本尊が安置されました。

列者が故人を通じてみ教えに出会えば、それで十分、なのです。

浄土真宗のお仏壇やお寺の本堂の内陣は、極楽浄土すなわち故人が還っていかれた世界を表わしています。対してお墓は、故人の形見である遺骨を納めたところですが、故人はそこにおられるわけはありません。話題になった「千の風になって」の歌詞通りです。ですから「故人がおられる場所だ」と私たちが信じる極楽浄土に手

●木像本尊の姿

真宗寺院において、その当初に安置された木仏は、古くから存在する仏像を得て本尊としたように、いろいろ異なった姿の本尊が安置されてきました。

それらの阿弥陀仏は身体を少し前に倒し、顔を西に向け、衣の裳をなびかせ、両足を二つの蓮台の上におき、念仏者を迎えに来る姿を表現した、いわゆる来迎像でした。しかし、宗祖は不来迎を説いたので、身体を真直に立て、顔は正面を向き、衣の裳は下に垂れ、両足をそろえた仏像が真宗の本尊として製作されるようになりました。

中世末期から近世にかけて道場の寺院化をするものが多くなり、を合わせる事が大事なのです。

決して遺骨を粗末にしているわけではありませんが、遺骨に執着することはかえって私たちの悩みを深くしてしまうものです。親鸞聖人が「自分の遺体は賀茂川の魚に与えてくれ」と言われよう、と遺骨の行き先の理想は、自然に帰すことです。



木仏の本尊もまた多く安置されることになりました。

真宗の寺院の正確な数はわかりませんが、中世には数百か寺、近世には二万か寺に達しました。

孟蘭盆会 うらぼんえ

八月十四日(月) 十時と十四時  
八月十五日(火) 十時と十四時  
本堂でお盆のおつとめをします  
どなたでもお参りいただけます

秋季彼岸会 ならびに 門信徒総追悼 永代経法要

講師 福山市内海町 那須英信師  
九月二十一日(木) 十三時半より

編集後記

紫陽花の花が日ごとに紫の色を深めております、皆様お健やかに  
お過ごしでしょうか。

宗祖降誕会法要等の報告、法物虫干し法座、サマースクール、孟蘭盆会、秋季彼岸会永代経法要等のご案内、第144号をお届けいたします。

暑さに負けずくれぐれもご自愛下さい。  
(編集委員 釋賢大)